

いのちと健康・兵庫

＝2013年2月号＝

〇発行元:働くもののいのちと健康をまもる兵庫県センター
〇責任者:事務局長 門 泰之

再建総会、開催！

2月9日（土）神戸市内にて「いのちと健康・兵庫センター」の再建総会を開催しました。会場定員を上まわる60名の方が参加し、あわてて資料の増刷をするなど、期待の大きさを痛感する総会となりました。

兵庫センターは、2000年8月に結成されていましたが、しばらく開店休業状態に。今回の再建で、近畿ブロック2府4県すべてに地方センターができました。

総会の記念講演としては、「メンタルヘルスケア対策～うつ病の認知療法・認知行動療法中心に～」（神戸健康共和会・千古医師）、「過労死・過労自殺について」（過労死防止基本法制定兵庫県実行委員会・今西弁護士）の2本を行いました。

千古医師からは、うつ病の症状・原因等の基本点を解説いただき、治療法の実践例として「7つのコラム法」が紹介されました。気分が落ち込んだときの状況や気持ちを書き出し、自らの自動思考のくせ、認知のかたよりを、事実と照らし合わせて視点を変えて分析するという作業です。

今西弁護士からは、過労死・過労自殺の現状をふまえ、実際に相談があった場合の対処法が説明されました。労災や裁判での闘い方、立証方法、厚生労働省が定めている心理的負荷評価の現状などを、自らが担当した脳疾患・公務災害認定裁判の実例も交えて、解説していただきました。



総会議事にあたっては、全国センターの福地理事長と全労連・近畿ブロックの川辺議長より、ご挨拶をいただきました。京都センター、大阪センター、滋賀センターからはお祝いやメッセージをいただきました。

兵庫センターの認知度を高めること、加盟団体・個人を増やすこと、役員体制を補強すること等々、まだまだ組織としての課題は山積していますが、「いのちと健康を守る」一人を人として大切に作る取り組みを、改めてスタートさせることを総会参加者の総意として確認しました。